

▲発行責任者
標津高等学校教育振興会
会長 梅木 雅 則
▲発行日
令和4年12月1日発行

標津高校は、生徒一人一人が主役となれる学校です

北海道標津高等学校長 渡 辺 幹 夫



早いもので、もうすぐ2022年が終わろうとしています。私も、4月に赴任したと思ったら、あっという間に8ヶ月が過ぎ、改めて時の過ぎゆく早さを実感しております。

さて、「ひるば」の前号では、前期の教育活動についてご紹介しましたので、今回は、後期の出来事を中心にご紹介したいと思います。

まず、9月には、2日日程でスポーツ大会がありました。初日は、運動会種目を中心に、2日目は、バレーボール競技を行いました。学年対抗ということもあり、どの競技も熱戦が繰り広げられ、観ている方も楽しくなるようなスポーツ大会でした。次に、9月末には、本校の伝統行事である強歩遠足がありました。野付半島のネイチャーセンターから本校までの約20kmをただひたすら歩くという過酷な行事ではありますが、ほとんどの生徒が完歩しました。私も生徒と一緒にやっとの思いで完歩しましたが、改めて、体力のなさを実感したとともに、生徒のバイタリティーに感服しました。10月には、2年生の見学旅行がありました。4泊5日の日程で、関西方面及び東京を見学しました。幸い天気にも恵まれ、東大寺、奈良公園、春日大社、清水寺、金閣寺、国会議事堂、浅草寺、ディズニーランド等を見学し、生徒達は皆、感激しておりました。しかし、帰校後に数名の生徒が新型コロナウイルス感染症にかかり1週間学年閉鎖となってしまいました。各自で感染対策をしていたはずなのに、感染者を出してしまったことは、団長として申し訳なく思っております。今後は、もう一度、気を引き締めて感染対策をしっかり行っていきたいと考えます。大変申し訳ございませんでした。

結びに、標津高校は小規模校ではありますが、このような学校行事等を通して、生徒一人一人が主役となれる学校です。考えようによっては、主役になることにより、リーダー性や主体性が生まれ、この経験が社会で役立つ時が必ず来ます。将来、標津高校を卒業した生徒がそれぞれの地元に戻り、地域に貢献してくれば、きっと地域の活性化に繋がると考えます。今後、このような人材育成を目指して教育活動を進めて参りたいと思いますので、引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



生徒会新役員認証式 ～新会長の意気込み～

2年A組 今村 歩乃華

こんにちは。この度、第71期生徒会長に就任致しました、今村歩乃華です。第69期では、お手伝いとして、第70期では役員として、学校をより良くしていく先輩方の姿を見て学んできました。第71期生徒会では、その意志を引き継ぎつつ、学校生活をより良いものにできる様に努めていきます。また、私たち生徒会は、今後の活動のため、先日リーダー研修を行ってきました。



「協同～生徒全員が活動の一員に～」

これは、新生徒会の目標です。これには、生徒会全員が活動の一員になり、協力し合える学校にしていきたいという思いが込められています。この目標を大切に、生徒会全員で達成を目指し、日々精進していきたいと思っております。

一人一人が主役になる教育活動



スポーツ大会

9月8～9日

スポーツ大会を終えて

3年A組 岡部 和真



今回のスポーツ大会を振り返って、今年は初めての外競技を追加したため不安な部分もありましたが、無事に成功して本当に良かったと思います。成功することができたのは、全校生徒の皆さんがスポーツ大会を円滑に進めてくれたお陰だと思って

いるので、本当に感謝しています。更に、物を運ぶのを手伝って頂いた行事運営委員の皆さん、テント張りを手伝って頂いた生徒会の皆さんにも感謝しています。また、玉入れや道具などを貸してくれた標津小学校をはじめ地域の皆さんにも感謝しています。

多くの人達に支えられ、今年のスポーツ大会が成功して本当に良かったと思います。来年のスポーツ大会も成功するように頑張ってください。



のゴミが落ちてきていることに気がつき、今後は視野を広げて率先してゴミ拾いを行いたいです。

来年には卒業して標津町から離れるので、このような形で町に貢献することができて良かったです。



3年A組 佐々木 遼太郎
高校生活最後の強歩遠足は、昨年とは違い、延期になることなく行うことが出来ました。3年間とも天候に恵まれ綺麗な景色を見ながら、クラスの皆と歩くことが出来ました。強歩遠足と同時にゴミ拾い活動も行い、普段から使う通学路なのに多くの



強歩遠足

強歩遠足を終えて

9月30日



ポー川巡検

1年A組 岩間 優

ポー川巡検を終えて

10月13日

ポー川に行ったのは数年ぶりだったので、とても懐かしく感じました。

初めに資料館の中を見学しました。竪穴住居の数や場所、土器が見つかった年代など色々な情報を知ることができました。また、アイヌ民族や蝦夷地の歴史についても少し知ることができて嬉しかったです。次に見学した標津湿原では、エゾイソツツジやミズゴケなどの植物の利用について学びました。最後に見学した竪穴住居の跡地では、住居の構造や、利点について知ることができました。



今回の体験を通して、自然の大切さを知るとともに、標津の歴史に触れ、現在と過去のつながりを感じることができました。



つながる循環型防災教育



今年度も生徒たちの防災減災の取り組みが続いています。

夏季休業に合わせて東北3県へ研修に行きました。毎年訪れている釜石市では、今年も夢団とHUGを使ってお互いに防災に関する交流を深め、石巻市の大川小学校では、語り部の方から命を守るということを改めて考える事ができました。さらに、福島県では、福島第一原発の事故について東京電力廃炉資料館で学び、原発事故の処理の難しさに触れ、改めて自然災害に備える大切さを実感しました。私たちは、現地からの思いや学びを積極的に標津町に還元します。



生徒会（ユネスコ局）では、9月29日に標津中学校での研修報告とオリジナルHUGを行いました。今後、秋から冬に向けて小学校や高校でも地域循環型防災教育を実践していきます。

海洋教育

～地域に根ざした豊かな学び～

外部講師として北大臨海実験所より鯨類が専門である鈴木一平先生をお招きして、海獣学習を3年生選択生物の授業で行いました。講義は、海生哺乳類の最先端の研究や調査の結果から明らかになってきた生理学的な話題や生態学的な話題を取り入れ、アカデミックな授業となりました。

根室海峡にも多くの海獣類が生息しています。海獣も豊かな海を支える大切な生物であり、なくてはならない存在であることを再認識しました。我々の活動も海洋生態系への負担を考慮し、持続可能な資源の有効利用に努めなければと考える学習となりました。



「海獣の役割」

9月28日

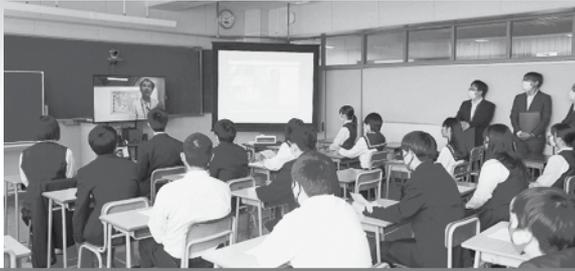
3年生フードデザインの授業では、海洋教育の一環で標津漁業協同組合の女性部に講師として来て頂き、鮭の解体実習を行いました。私たちにとって身近な食材である鮭ですが、解体の体験をしたことがない生徒がほとんどで、四苦八苦しながらも講師の先生のサポートのお陰で3尾の鮭の解体に挑戦しました。

解体後には、「鮭のあら汁」「鮭ざんぎ」「鮭とチーズと大葉の春巻き」を調理し、皆で試食をして、大変有意義な時間となりました。



「鮭の解体実習」

10月20日



9月16日(日)に体験入学を実施しました。

今年は約50名の中学生に参加していただきました。標津高校の魅力を少しでも感じていただくことを目的に実施しております。



まず、体育館でのオリエンテーションでは、生徒会による学校生活の紹介や教務部長による教育課程についての説明、進路指導部長による進路状況についての説明が行われました。

標津高校 体験入学



その後、3つのグループにわかれ、それぞれ3つの模擬授業を体験してもらいました。今年度は、自然環境系科目、商業系科目、T-baseによる配信科目(歴史)の授業を体験してもらいました。

持ち運べる水を作る実験や電卓の便利な使い方講座、実際に手を動かしたり、参加者同士で協力したりしながら高校の授業を体感してもらいました。



最後に、各部活動の活動場所へ移動し、部活動見学をしてもらいました。また、希望者に向けて本校で活用されている、スタディサプリの体験会を行いました。



短い時間ではありましたが、標津高校で行われている様々な活動の雰囲気を感じてもらうことが出来たと思います。

体験入学を通して、参加していただいた中学生や保護者の皆様、引率の先生方に標津高校の特色を理解していただけたのではないかと思います。来年度、1人でも多くの方が標津高校に入学し、再びお会い出来ることを楽しみにしています。

部活動の活躍

令和4年度 釧根支部ボランティア研究大会 参加

私たちは、10月20日(日)に、阿寒高校で行われた釧根支部ボランティア研究大会に参加してきました。今回の大会は、私が1年生の頃から活動してきた中で初めての参加でした。

内容は、防災学習が主でした。地震についての学習やクイズのあとに、他校の生徒と一緒に段ボールベッドの組立などを行い、避難所の生活を体験しました。これまで、防災について考えることは多かったのですが、実際に避難所の体験をすることはなかったので、貴重な経験になりました。

ボランティア部部長 渡部 佑菜



2022年度 北海道卓球選手権大会

【ジュニア男子シングルス】2回戦

齊藤慎太郎 対 札幌龍谷 0-3

私は10月14日から17日にかけて旭川で開催された北海道卓球選手権大会に出場しました。

大会では今までやってきた練習の成果を発揮することが出来たので良かったです。初戦敗退という結果ですが、自分がこれからの練習でどのような練習内容にすればよいのか考えなおす良い時間になりました。全道大会の経験を活かし、次の大会に向けまた頑張ります。

卓球部副部長 齊藤 慎太郎



第43回 高文連釧根支部理科研究発表大会

【綺麗な海を守ろう!MP(マイクロプラスチック)の汚染状況の分析・調査~定点・ベントス・流氷~!!(第4報)】ポスター賞 受賞

私たち自然科学部は、標津町のあすばるで行われた高文連釧根支部理科研究発表大会に参加してきました。

今年は4年間継続してきた、標津町海の公園の砂浜調査や、底生生物、流氷の調査についてポスター形式でまとめて発表しました。最後ということもあって、緊張しながらもやりきれて良かったと思います。これからは、後輩が主役となってがんばってほしいと思っています。また、今回の大会は、標津高校が当番校を務め、会場の準備や司会など運営を行いました。当番校の仕事は初めてで、プレッシャーもありましたが、無事に大会を終えることができました。

自然科学部部長 渡辺 勇人

